

マンデラ元南アフリカ共和国大統領の逝去に関する安倍内閣総理大臣の談話

平成25年12月6日

マンデラ元南アフリカ共和国大統領の逝去の報に接し、深い悲しみに包まれております。

マンデラ元大統領は、信念の人でした。27年間におよぶ投獄にもかかわらず、その間ずっとアパルトヘイト撤廃のため闘い続けた不屈の精神に、深く頭を垂れ、最大の賛辞を送ります。

彼は、不屈の闘士であるのみならず、和解の推進者でもありました。長い苦難の末にアパルトヘイトの撤廃を実現した後に、復讐ではなく、国民和解を先頭に立って推進されたことに、心より敬意を表します。

そして、彼は、未来への希望の星でした。新生南アフリカの国造りにあたり、より良い社会の実現に向けて、人々が未来への希望を託す指導者であったことに、懐かしさを込めて思いを致します。

ノーベル平和賞を受賞されたマンデラ元大統領は、三度の訪日を通じて、日本自身の国造りと発展の歴史にも関心を示され、日本と南アフリカの友好協力関係を推進されました。我が国は、今後ともマンデラ元大統領の想いを胸に、「自由とより良い世界に向けた長い道」を、南アフリカ共和国と共に歩いていく所存です。

信念の人。和解の推進者。未来への希望。本日、世界は偉大な人物を失いました。しかし、彼の高貴な信念は、今も、いつまでも、我々の心の中に生き続けるでしょう。

ここに謹んで、日本国政府および国民を代表し、マンデラ元大統領のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(了)